

産学官 次世代型学びプロジェクト「ひの@平山小」

第4回公開研究会 11月5日(土)

報告その2
実践報告・パネルディスカッション・対談



<平山小実践報告&質問回答>



- ・学年ごとに「公開授業」の説明
- ・授業直後なのでホットな話題も

・日頃の指導についての質問にも回答



あきみかん
あわてない あきらめない
よくきく
よくみる
かんがえてこうどうする



- ・平山小が取り組んでいる実践の説明、報告

<パネルディスカッション:「企業と学校との連携の在り方」> ～トップ・技術開発者が語る～ ～現場に寄り添う裏方が語る～



この産学官共同プロジェクトは関連企業、大学の研究者、日野市が、それぞれの立場から知見を出し合って、「子供たちの学びの場」を最高のものにしようとして連携を図っていることに価値があります。ネットワーク環境、ハード機器、OS、アプリケーションソフト、教材のコンテンツと、必要な情報技術の全てのレイヤーのスペシャリストがそろって、一緒に問題解決し、私たちのニーズに合わせた開発に取り組んでくださっています。(平山小だより12月号より)



学びの場に関する実証研究を、関係企業の皆さんと一緒に取り組み、システムや教材の開発に少しでもかかわれたことは、幸せなことでした。企業の方から「平山小の子供たちと先生方の明るさと意欲の高さ、挑戦力に刺激され、こちらも何とか力になりたい、役立ちたいという意欲が高まります。」と言っていただいたことは、とてもうれしい限りです。(平山小だより12月号より)

<対談:「2020年代に向けた教育の情報化と平山小学校の果たした役割」>



東原義訓教授
(信州大学)

有松育子局長
(文科省生涯学習政策局)

全ての学習の基盤となる力

- 「言語能力(読解力等)」
- 「情報活用能力(プログラミング的思考やICTを活用する力を含む)」
- 「問題発見・解決能力」
- 「体験から学び実践する力」
- 「多様な他者と協働する力」
- 「学習を見直し振り返る力」など

(次期学習指導要領に向けた審議のまとめより・2016年9月1日)

このプロジェクトは来年の3月で終了しますが、平山小学校の新たな学びへの挑戦はこれからも続いていきます。五十嵐校長先生をリーダーとする「チーム平山」の教職員の方々の熱意と頑張り心から敬意を表します。メディアコーディネーターも平山小の実践から学びながら、子供たちの未来のために最高の「学びの場」をつくるための支援をしていきたいと思ひます。

